

DTHD

前期、売上1087億円

第一貨物は経常益確保



武藤 幸規社長

第一貨物と太平興業の持ち株会社ディー・ティ
ー・ホールディングス
(DTHD、本社・東京、武藤幸規社長)の平

成二十六年三月期連結決算は売上高千八百七億三千二百万円、経常利益二十三億千六百万円だった。物流関連では第一貨物が増収。コスト削減と効率化を進め損益を改善。経常利益を確保した。物流関連事業の中核である第一貨物は売上高七百三億七千九百万円(前

期比一・八%増)、経常利益七億五千五百万円となり、前期の欠損からすぐに黒字化を果たした。
**ロジの減収を
運送でカバー**
トラック運送事業が適正運賃收受の取り組みに加え、景気の回復基調を受けた堅調な荷動き、消

費増税前の駆け込み需要もあり大幅に増収。ロジスティクス事業は、最大顧客の家電量販店業務で一部エリアからの撤退により大きく減収したが、利益面で徹底したコスト削減と効率化を進めた。また、自動車販売事業を手掛ける太平興業は売上高三百一十一億六千六百万円(同四・二%増)、経常利益八億四千六百万円(同五・五%減)となった。

DTHDの連結売上高の事業別の内訳は、物流関連七百五十四億七千万円、自動車販売二百八十億二千七百万円、不動産賃貸六億四千三百万円、その他四十五億九千万円。

DTHDは二十四年十

月の設立。二十五年三月期は、関係法令に従い太平興業の通年の業績と第一貨物の下期の業績を連結したため、二十六年三月期との比較は行っていない。(矢田 健一郎)